



「おひさまきらきら えがおいっぱいなんざんようちえん」

## 南山幼稚園だより

9月号

平成27年9月1日

港区立南山幼稚園

### 「安心感」と「信頼感」を支えに

8月の中旬まで厳しい暑さの厳しい夏でした。その後涼しい日が続いています。保護者の皆様には、お子さんの健康管理をしっかりといただき、子供たちは元気に2学期を迎えることができました。子供たちの様子から、夏休みには、家族と一緒に、また家族に見守られながら、たくさんの素敵な体験を積むことができたことが感じ取れます。

さあ、本日から2学期の始まりです。2学期も、日当たりのよい広々とした遊び場や南山の森などの恵まれた環境を生かして、人やもののかかわりを大切にされた教育活動を行い、子供たちの好奇心や探究心を育てていきます。また、体を動かす心地よさや友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにします。遊びを中心とした主体的な生活を通して、子供たちが心豊かに育つことを目指していきます。

さて、子供の豊かな心の育ちは、子供にとって一番身近な保護者の方や幼稚園の教師に対する「安心感」と「信頼感」に支えられていると考えます。

では、「安心感」と「信頼感」はどのように生まれるのでしょうか。それは、子供にかかわる私たち大人が、子供の心に寄り添うことが大切です。表情や言葉、しぐさなどから子供の内面にある気持ちを汲み取って、その気持ちに共感することで、子供は「自分のことを見守ってくれているのだ。」「自分のことを理解してくれているのだ。」という気持ちになり、自分が大切にされていることを実感して安心するのです。そのような積み重ねの中で、信頼感が生まれてくるのです。

子供にとって、大きな支えとなる「安心感」と「信頼感」をキーワードに、子供の心に寄り添い、その子なりのよさを認め、心から褒め励ましていきましょう。

今学期は、親子遠足、親子運動会、作品展など、行事も盛りだくさんです。行事を通して、子供たちの成長を実感していただきたいと思います。また、10月には、「心を育てる教育講座」を開催いたします。講師の先生をお招きして「子供とのかかわり方」を学びたいと考えております。

今学期も、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

園長 和田 京子

### 9月のねらい



#### ◎3歳児 りんご組

○好きな遊びをする中で、友達と一緒にいる心地よさを感じる。

自分の好きな遊びを見つけ、友達の近くで遊んだり、同じようなことをしたりして、友達の存在に目を向け、一緒に過ごす楽しさを味わえるように援助していきます。

○学級の友達と、戸外で身体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。

プール遊びやリズム遊び、踊りやかけっこなどを楽しみ、身体を動かす気持ちよさを感じ、自分からのびのびと遊ぶことを導いていきます。

また、戸外で、気温の変化や風を感じたり、トンボやバッタなどの生き物と触れ合ったりして、初秋の自然を楽しみます。

○園での生活の仕方を取り戻しながら、身の回りの支度を自分で行う。

1学期、園での過ごし方や、園での約束などを確認しながら、幼稚園での過ごし方や楽しさを思い出し、2学期も安心して幼稚園で過ごしていけるようにしていきます。

#### ◎4歳児 ばら組

○園生活の仕方を思い出し、自分から進んで行おうとする。

所持品の始末、手洗いやうがい、片付け方など、1学期に行っていたことを思い出し、自分でできることは、進んで行えるように、認めたり励ましたりしながら援助し、生活のペースを作っていきます。

○自分の思いを動きや言葉や動きで表しながら遊ぶことを楽しむ。

夏休みに経験したことを活かして遊んだり、友達との関わりを楽しんだりする機会を作っていきます。思ったこと、考えたことを実現しながら遊びを楽しめるようにしていきます。

○園庭の身近な自然を見付け、関わる中で初秋の自然に興味をもつ。

園庭にある花を使つての色水遊びや、風船カズラ、大豆、オシロイバナなどの種や実の収穫、セミやトンボ、バッタなどの虫を捕まえて、様子を見たり、飼育したりしながら小さな生き物と親しみ、関わりを楽しめるようにしていきます。

#### ◎5歳児 さくら組

○友達と目的を共通にして、一緒に遊びを進めていくことを楽しむ。

1学期に遊んだ遊びや、夏休みに経験したことを自分たちの遊びに取り入れて遊んでいきます。友達と一緒に遊ぶ中で、自分の経験やイメージしたことを相手に話し、互いに考えを出し合つて遊びを進めていけるようにします。

○戸外でのいろいろな遊びに取り組んだり、自然に関わったりする中で、繰り返し挑戦したり、興味をもって調べたりする楽しさを味わう。

新しいことや周りの友達のしていることへの関心が一段と高くなり、「自分もできるようになりたい」と思う姿が予想されます。そこで、自分なりのめあてに向かって繰り返し挑戦できる場や時間を確保し、意欲的に取り組む姿を大切にしていきます。

また、身近な自然物との関わりを通して、「なぜだろう」「もっと知りたいな」という探究心を育てるために、じっくりと関わっていく時間を大切にしていきます。

○小学生に、親しみの気持ちをもち関わりを楽しむ。

5年生とペアになりプール遊びをしたり、2年生とのさつま芋の栽培活動したりしながら、交流をしていきます。互いに親しみの気持ちをもち、関わりが深まるようにしていきます。

南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて

「しせいを正そう」

